

# 情報共有

**A-PLAT** CLIMATE CHANGE  
ADAPTATION  
INFORMATION  
PLATFORM  
気候変動適応情報プラットフォーム



## 目次

第 1 章 はじめに .....	3
当資料の位置付け .....	4
情報共有 .....	4
第 2 章 情報共有 .....	5
概要 .....	6
共有グループ設定 .....	7
ステップ 1: グループの作成 .....	7
ステップ 2: ユーザーの招待 .....	9
ステップ 3: グループへの加入 .....	11
コンテンツの共有(GISデータ) .....	11
ステップ 1: データのアップロード .....	11
ステップ 2: マップの作成と共有 .....	18
ステップ 3: データの追加 .....	23



# 第 1 章 はじめに

## 当資料の位置付け

当資料（アプリケーション操作手順書）は、地方自治体及び地域気候変動適応センター（以下地域センター）の方が、気候変動適応に資するデータ等を複数自治体間で共有する際の一助となる事を目的として作成しました。

## 情報共有

この手順書における情報共有とは、自治体の境界をまたいで広域で連続するデータ（気象や生態系等）に関し、地域センター間等で共有する事を指します。これらの共有により、各データ特性に応じた広域的（集水域や行動圏等）な傾向等を把握する事で、適応策の検討等に資する事が期待されます。



## 第 2 章 情報共有

## 概要

ArcGIS Online のグループ機能を利用することで、各地域センター等が所有するデータを、相互に共有する事が出来るようになります。

ここでは、県境に南アルプス等を有する長野県と静岡県を仮定の例として、地域センター間で気象情報を共有するためのグループ作成等の操作手順を記載します。当手順は汎用性があり、他の主題や地域にも適用可能です。



当手順書における長野県と静岡県はあくまで仮定の例としての記載になります。  
内容について不明な点がある場合については、国立環境研究所にお問い合わせください。

以下にユーザーとその役割について纏めます。

表 1

ユーザー	役割
国立環境研究所（以下、NIESとする。） ユーザー	情報共有のためのグループの作成及び招待
長野県ユーザー	データの追加・管理
静岡県ユーザー	データの追加・管理

### システム全体像

（県が異なるユーザー間の情報共有グループを作成しコンテンツを共有します）

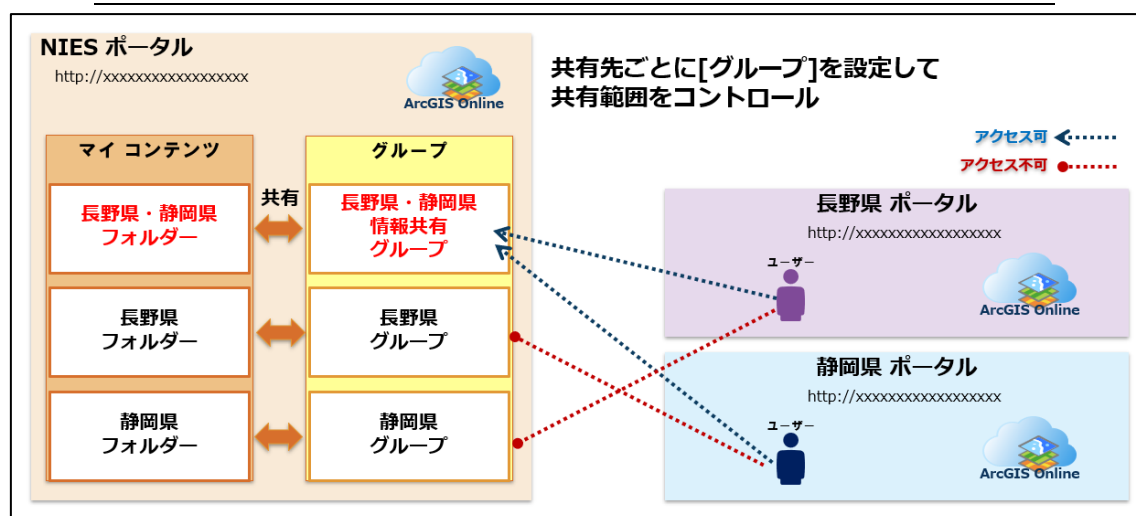


図 1

## 共有グループ設定

### ステップ 1: グループの作成

#### グループ所有者（国立環境研究所ユーザー）の操作

「ステップ 1」では、データを共有するグループを新規に作成します。このグループにユーザーがコンテンツを共有した場合のコンテンツへのアクセス権は、グループに加入しているユーザーのみに制限されます。



共有グループ設定を行う際には、Eメールにて国立環境研究所 担当者へご連絡ください。

- ① PCのWeb ブラウザーを起動し、サイト「[www.arcgis.com](http://www.arcgis.com)」にアクセスして、サイン インします。



図 2

- ② ArcGIS Online サイトの上部にある [グループ] をクリックし、[マイ グループ] タブを表示します。
- ③ [グループの作成] をクリックします。



図 3

- ④ [グループ名]、[サマリー]、[タグ] を入力します。
- ⑤ サムネイルを設定します。
- ⑥ [このグループを閲覧できる人] でグループの検索・表示できる範囲を設定します。
- ⑦ [グループに参加できる人] で、参加できる人を指定します。
- ⑧ [コンテンツをグループに提供できるユーザー] で、グループ内にコンテンツを共有できるユーザーを指定します。
- ⑨ [グループの作成] をクリックして、グループを作成します。

図 4

正常にグループが作成されると、以下画面のようにグループの[概要]タブが自動的に表示されます。





図 5

以上で、「ステップ 1: グループの作成」が完了しました。



グループの設定は、グループ作成後にも[設定]タブより変更が可能です。



グループには、[所有者]、[グループ マネージャー]、[メンバー]という3つのグループロールというアクセス権があります。共有グループに対してどういう権限を持っているかというもので、グループを作成すると、[所有者]になります。

## ステップ 2: ユーザーの招待

### グループ所有者（国立環境研究所ユーザー）の操作

「ステップ 2」では、「ステップ 1」において作成したグループにユーザーを招待します。各県の地域センター等のArcGIS Onlineユーザーをグループに招待すると、ユーザーがグループに加入できる状態になります。

- ① グループに招待する長野県と静岡県 ArcGIS Online ユーザー名を事前に確認しておきます。

- ② 作成したグループ画面から[ユーザーの招待]をクリックします。



図 6

- ③ 画面から[“組織名”サイト内で検索] チェックボックスをオフにします。



図 7

- ④ 招待する長野県のArcGIS Onlineユーザー名を入力し、[検索] をクリックします。
- ⑤ [ユーザー] 欄に検索された名前が表示されるので、招待するユーザーの名前の横のチェックボックスをオンにします。
- ⑥ [ユーザーの招待] をクリックします。

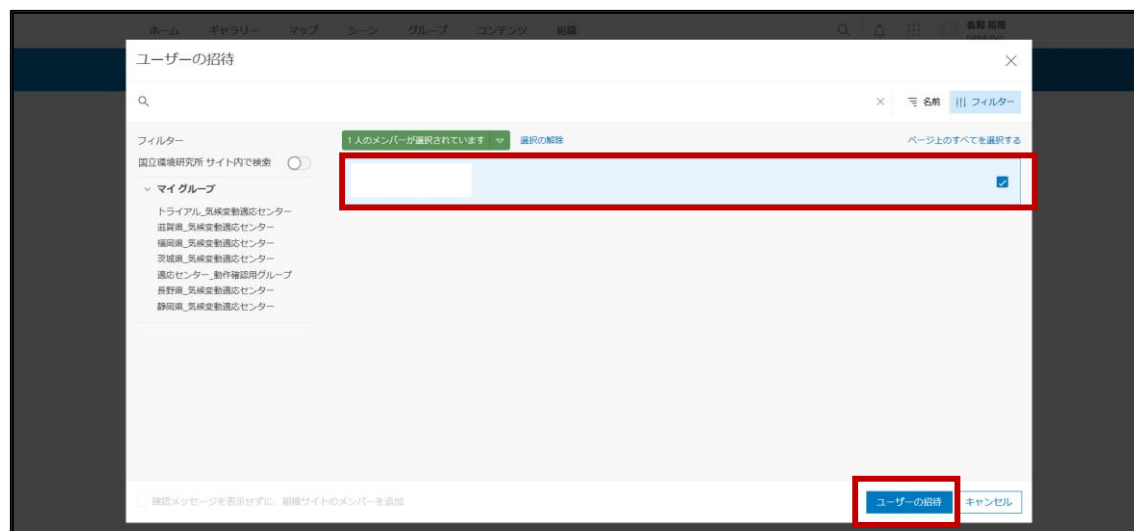


図 8

- ⑦ 同様の方法で静岡県 of ArcGIS Online ユーザーをグループに招待します。

以上で、「ステップ 2: ユーザーの招待」が完了しました。

## ステップ 3: グループへの加入

### 長野県ユーザー/静岡県ユーザーの操作

「ステップ 3」では、招待を受けた長野県と静岡県 of ArcGIS Online ユーザーには招待通知が届きます。ユーザーは通知を確認後、グループに加入する手続きを完了するとグループに加入され、グループに共有されているコンテンツを利用できるようになります。

- ① 長野県と静岡県 of ArcGIS Online ユーザーが、自分が所属する ArcGIS Online 組織サイトにサイン インすると、画面上部のメニュー上 [通知] ポップアップが表示されます。



図 9

- ② [通知] ポップアップ → [招待の表示] をクリックします。
- ③ [このグループに加入] をクリックしてグループに加入します。

以上で、「ステップ 3: グループへの加入」が完了しました。

## コンテンツの共有(GISデータ)

### ステップ 1: データのアップロード

#### データを共有する側（今回は長野県ユーザー）の操作

「ステップ 1」では、長野県と静岡県 of 地域センターが GIS データを共有して、地図上で管理するために、データを ArcGIS Online にアップロードします。

- ① データを共有する側（今回は長野県ユーザー）が手元にデータを用意します

長野県内における気象観測所の Shape ファイルを例として記載します。

② ShapeファイルはZip形式に圧縮します。

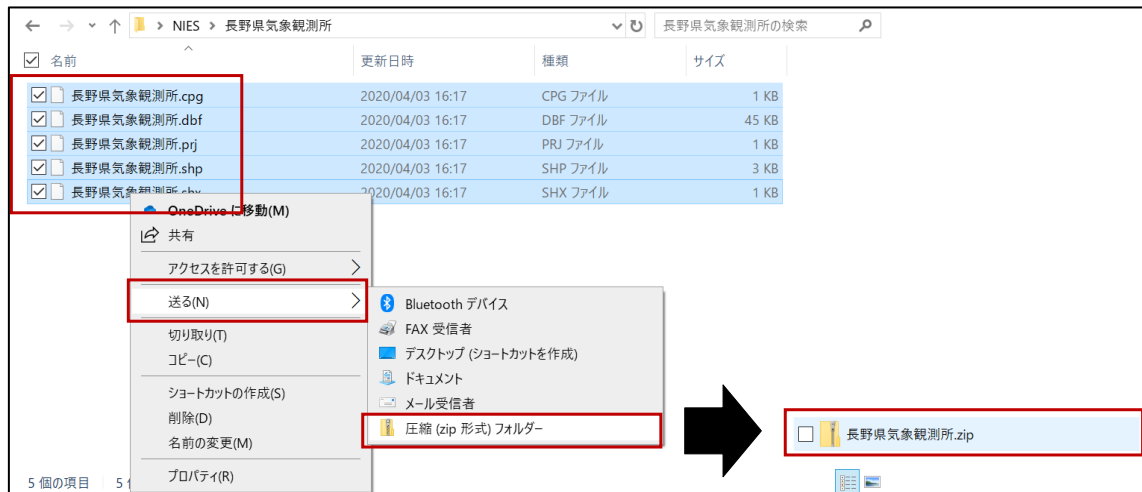


図 10

③ PCのWebブラウザを起動し、サイト「[www.arcgis.com](http://www.arcgis.com)」にアクセスして、サイン インします。



図 11

④ ArcGIS Online サイトの上部にある [コンテンツ] をクリックし、[マイ コンテンツ]を表示します。

⑤ [アイテムの追加] をクリックし、[コンピューターから] をクリックします。



図 12

- ⑥ [ファイル] をクリックし、用意した気象データShapeファイルを選択し、[このファイルをホスト レイヤーとして公開します。] にチェックを入れます。シェープファイルは予め ZIP形式で圧縮保存しておく必要があります。
- ⑦ 続いてタイトルとタグを入力し、[アイテムの追加]をクリックします。



図 13

正常にアイテムが追加されると、以下画面のようにアイテムの[概要]タブが自動的に表示されます。

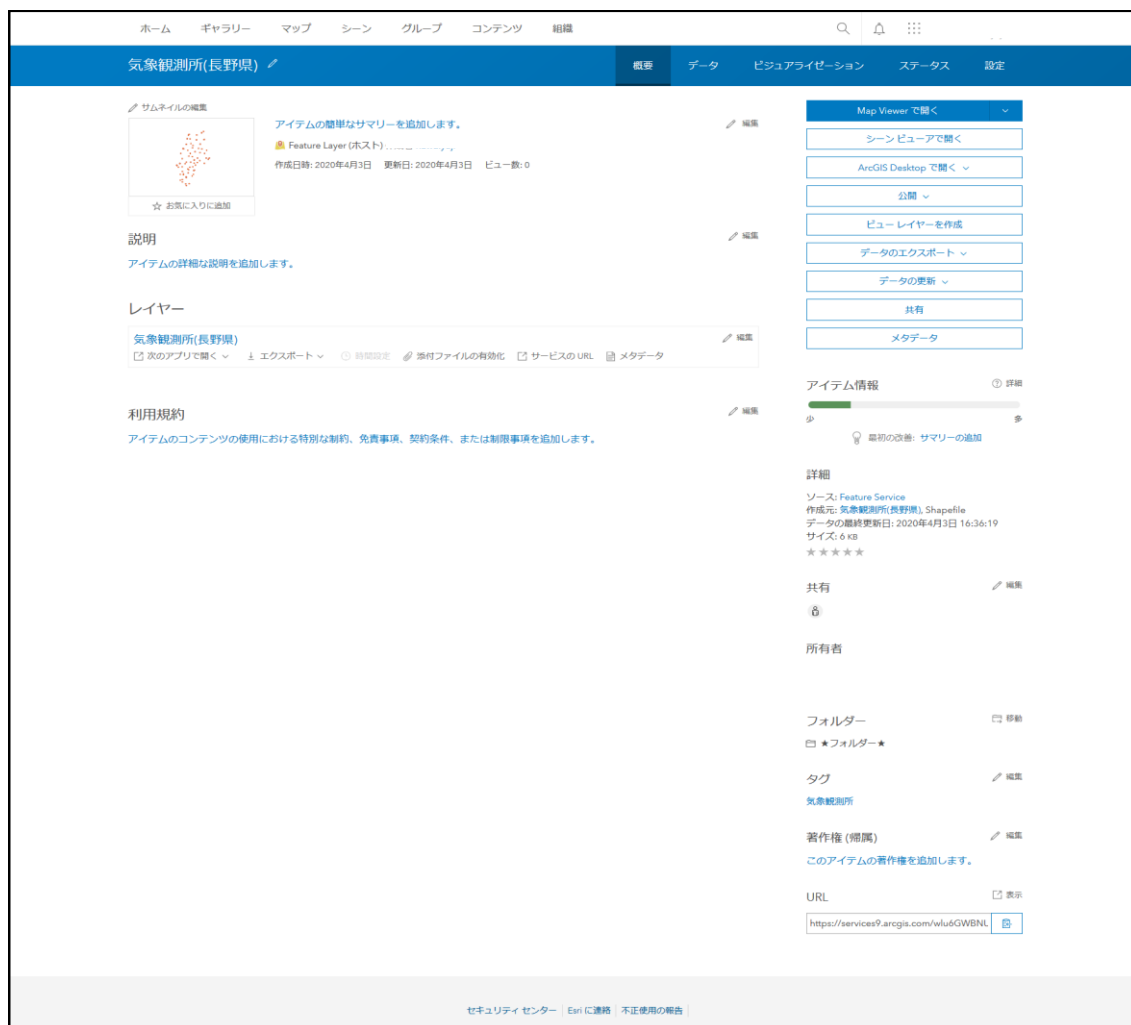


図 14

- ⑧ 削除の防止を設定したい場合は、[このアイテムが誤って削除されないようにします。] にチェックを入れ、[保存] をクリックします。
- ⑨ 編集可能な設定にしたい場合は、[設定] タブの「Feature Layer(ホスト)」を開き、[編集] にチェックを入れて [保存] をクリックします。
- ⑩ 他ユーザーのエクスポート設定を行いたい場合は、[他のユーザーが別の形式にエクスポートすることを許可します。] にチェックを入れ、[保存] をクリックします。

[ホーム](#)
[ギャラリー](#)
[マップ](#)
[シーン](#)
[グループ](#)
[コンテンツ](#)
[組織](#)

[気象観測所\(長野県\)](#)
[概要](#)
[データ](#)
[ビジュアライゼーション](#)
[ステータス](#)
[設定](#)

一般

コンテンツ ステータス

このアイテムの使用を推奨しません。

削除の防止

☒ このアイテムが誤って削除されないようにします。

範囲

アイテムを場所で検索できるように範囲を設定します。

Feature Layer (ホスト)

編集

☒ 編集の有効化  
☒ 作成および更新されたフィーチャを記録  
☒ フィーチャの作成および最終更新者を記録  
☒ 同期の有効化 (オフラインでの使用および共同作業のために必要)

• 誰がフィーチャを変更できますか？  
このレイヤーを特定のユーザーのグループまたは組織と共有するか、あるいは [概要] タブの [共有] ボタンを使用してパブリックに共有します。このレイヤーは共有できません。

• どのような種類の編集が許可されていますか？

☒ 追加
 ☒ 削除
 ☒ 更新
 

☒ 属性とジオメトリ
 ☐ 属性のみ

• どのフィーチャを編集者は閲覧できますか？

☒ 編集者は、すべてのフィーチャを閲覧できる
 ☐ 編集者は、各自が所有するフィーチャのみを閲覧できる (編集情報の記録が必要)  
編集者は、自身が追加したフィーチャも含め、一切のフィーチャを表示することはできません。

• どのフィーチャを編集者は編集できますか？

☒ 編集者はすべてのフィーチャを編集できる
 ☐ 編集者は、各自が所有するフィーチャのみを編集できる (編集情報の記録が必要)

• 匿名の (サインインしていない) 編集者はどのようなアクセスが可能ですか？

一般 Feature Layer (ホスト)

• 編集を管理できるのはだれですか？

- あなた
- 管理者
- 適切な権限を持つデータ管理者

空間インデックスの管理

データが頻繁に変化する場合、空間インデックスを再構築すると、マップ上のフィーチャを描画するときのパフォーマンスが向上する可能性があります。

キャッシュ制御

レイヤーを一般ユーザーと共有する場合、レイヤーがコンテンツ配信ネットワーク (CDN) によってキャッシュされます。CDN は、コンテンツを世界中に配信するときの待ち時間を大幅に減らすことができます。これにより、マップの読み込み時間とアプリの応答性が改善され、ユーザーエクスペリエンスが向上します。デフォルトでは、CDN はフィーチャ レイヤーを定期的にチェックして、CDN キャッシュが最新であることを確認します。現在のキャッシュが有効であると見なされる時間を延ばすことで、パフォーマンスをさらに向上させることができます。これを行った場合、データを表示する一般ユーザーは、データに対する編集をすぐには確認できず、更新が表示されるまで長く待たなくてはなりません。詳細を見る。

更新が表示されるまでユーザーが待たされる最長の時間は？

データのエクスポート

☒ 他のユーザーが別の形式にエクスポートすることを許可します。

[セキュリティセンター](#)
[Esri に連絡](#)
[不正使用の報告](#)

図 15

追加したデータを分かりやすく整理するために、フォルダーを作成します。

- ⑪ メニューから[コンテンツ]をクリックし、マイコンテンツを開きます。



図 16

- ⑫ [新規フォルダーの作成] をクリックします。



図 17

- ⑬ フォルダー名を入力し、[OK] をクリックします。

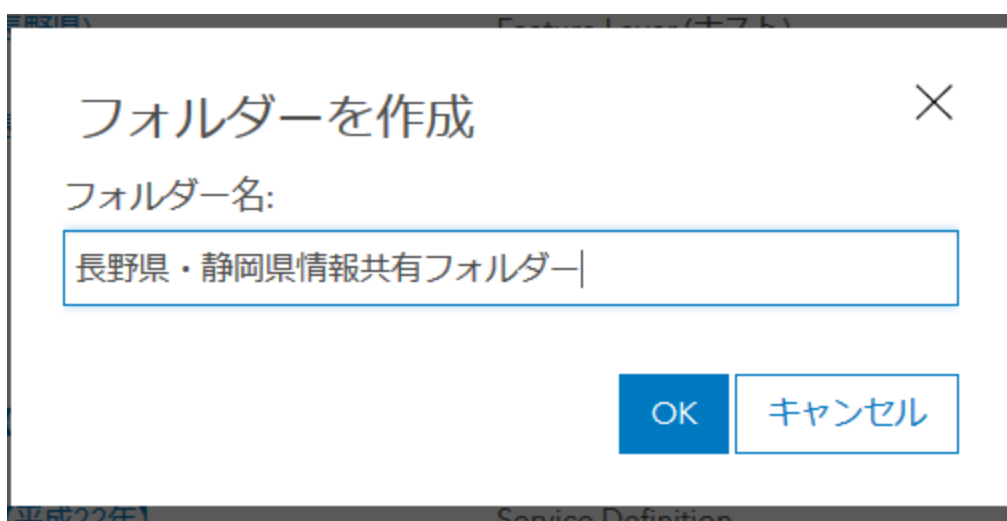


図 18



正常にフォルダーが作成されると、以下画面のようにフォルダーが自動的に表示されます。新規に作成したフォルダー内に、アイテムを移動します。



図 19

- ⑭ [すべてのマイコンテンツ] をクリックし、保有しているアイテムをすべて表示します。

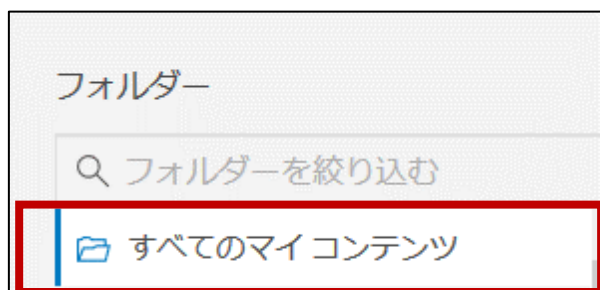


図 20

- ⑮ フォルダーに移動するアイテムにチェックを入れ、[移動] をクリックします。

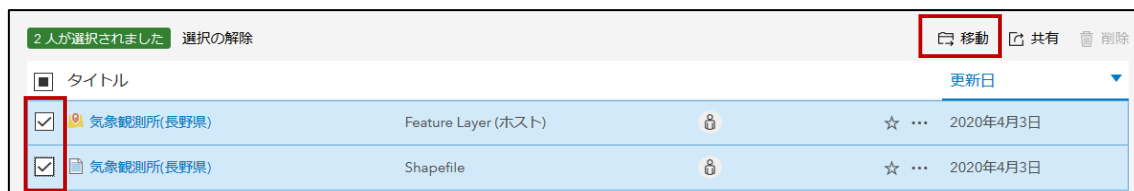


図 21

- ⑯ [アイテムの移動] 画面が表示されるので、新規に作成したフォルダーをクリックし、[保存] をクリックします。



図 22

以上で、「ステップ 1: データのアップロード」が完了しました。

### データを共有する側（今回は長野県ユーザー）の操作

## ステップ 2: マップの作成と共有

「ステップ 2」では、地図上で情報を可視化/共有を行うため、「ステップ 1」においてArcGIS Online上にアップロードしたデータをもとにArcGIS OnlineのWebマップを作成します。共通のWebマップを作成することで、静岡県とのデータ共有の地理的な認識統一を図ることが可能となります。



図 23

- ① アイテム詳細ページから [Map Viewer で開く] をクリックします。



図 24

気象観測所レイヤーが追加された状態で、新規にWebマップが開きます。

- ② [スタイルの変更] をクリックし、気象観測所のスタイル(シンボル)設定画面を開きます。

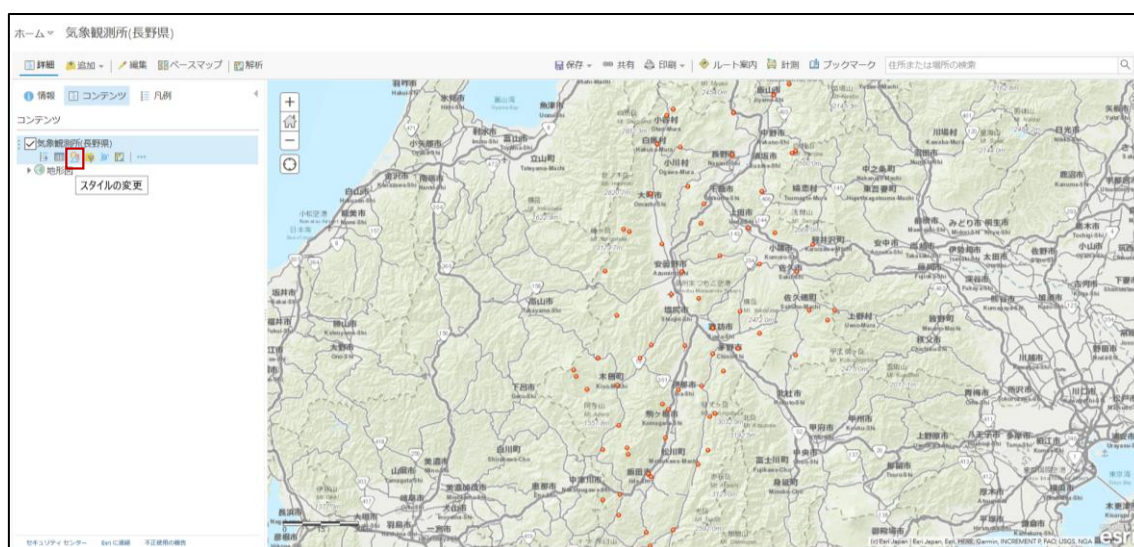


図 25

- ③ 場所(単一シンボル) の[オプション] をクリックし、任意のシンボルを設定します。



図 26

- ④ [保存] をクリックします。

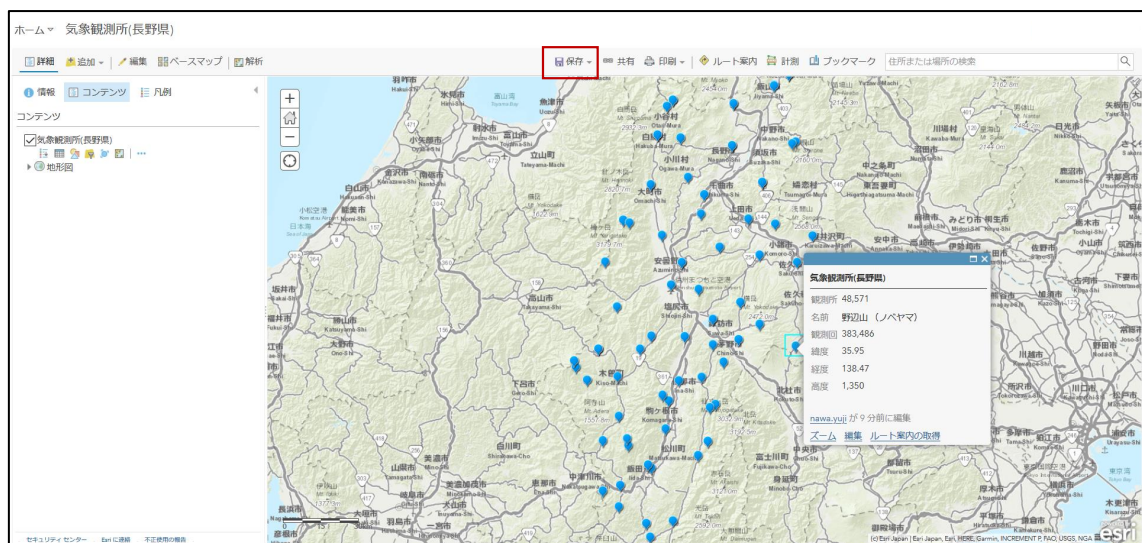


図 27

- ⑤ 名前とタグを入力し、[マップの保存] をクリックします。

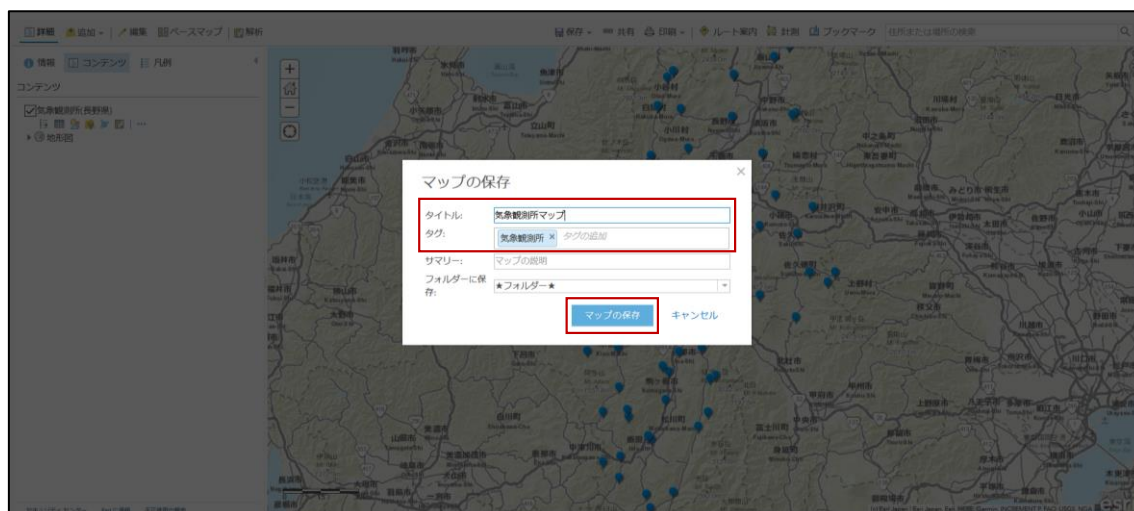


図 28

- ⑥ [共有] をクリックします。

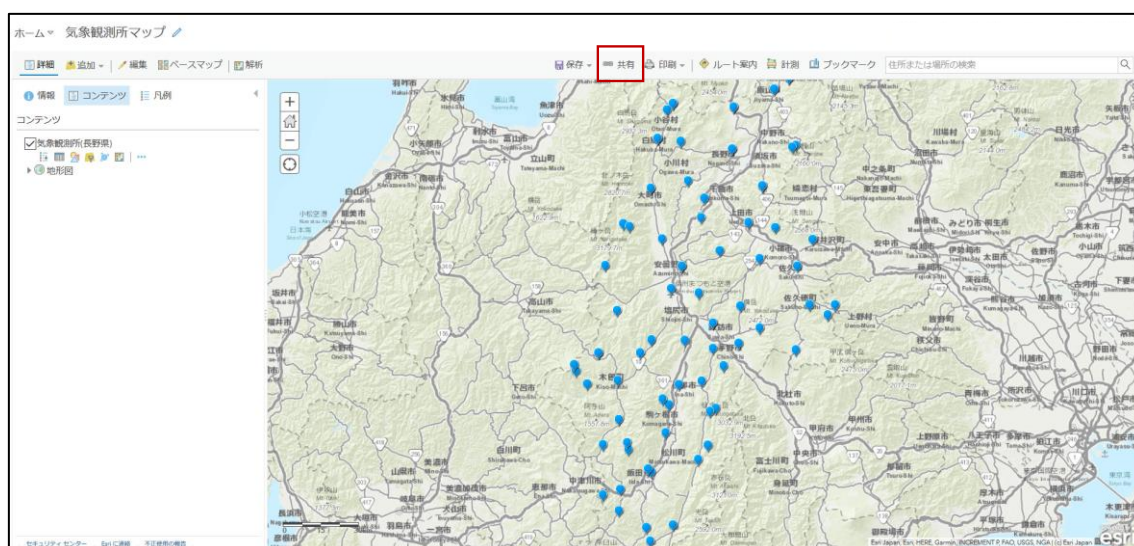


図 29

- ⑦ 共有画面においてから作成したグループにチェックを入れ、完了をクリックします。

チェックを入れたグループにコンテンツが共有されます。



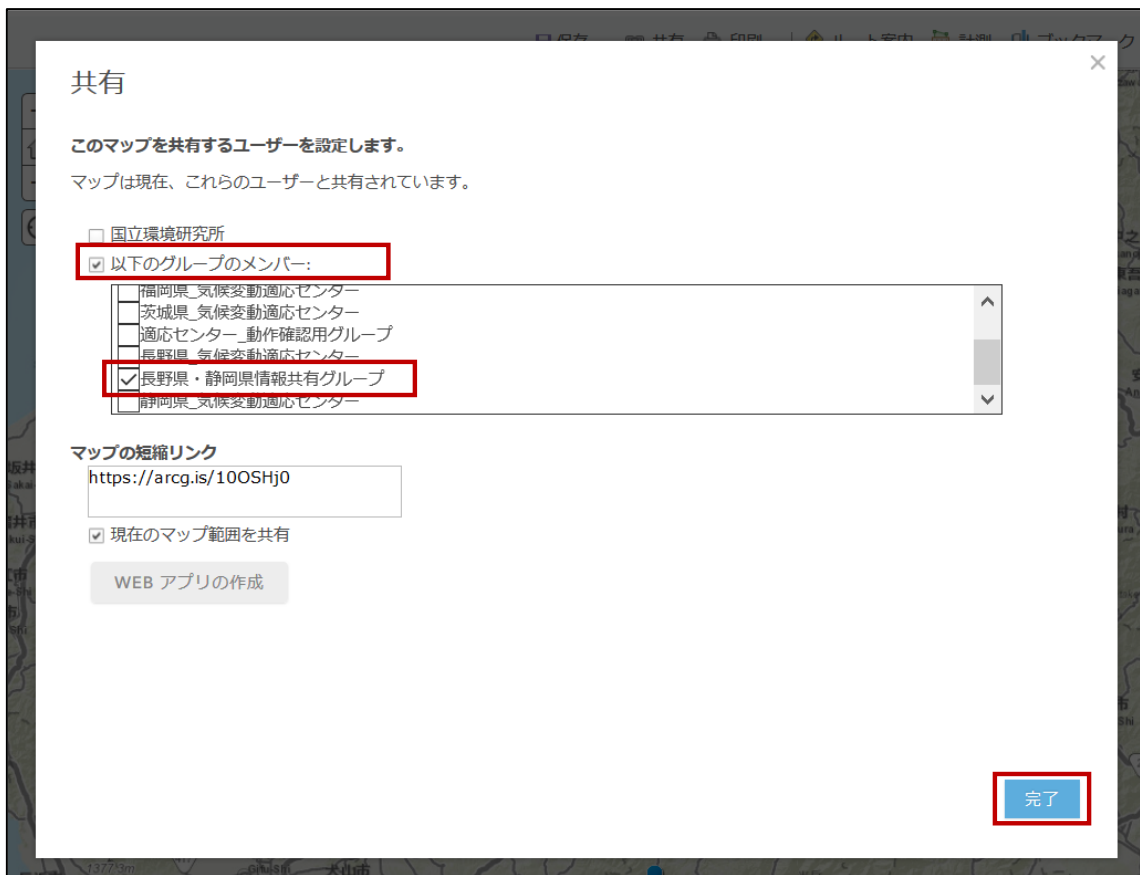


図 30

- ⑧ [共有の更新] 画面が開くので、[共有の更新] をクリックします。



図 31



ArcGIS Onlineのマイコンテンツ上にあるアイテムに対しては共有設定を行うことができます。Web マップを共有する場合には、レイヤー(Feature Layer(ホスト))とWebマップの共有設定を行います。

- ⑨ 再度、Webマップの [保存] をクリックします。

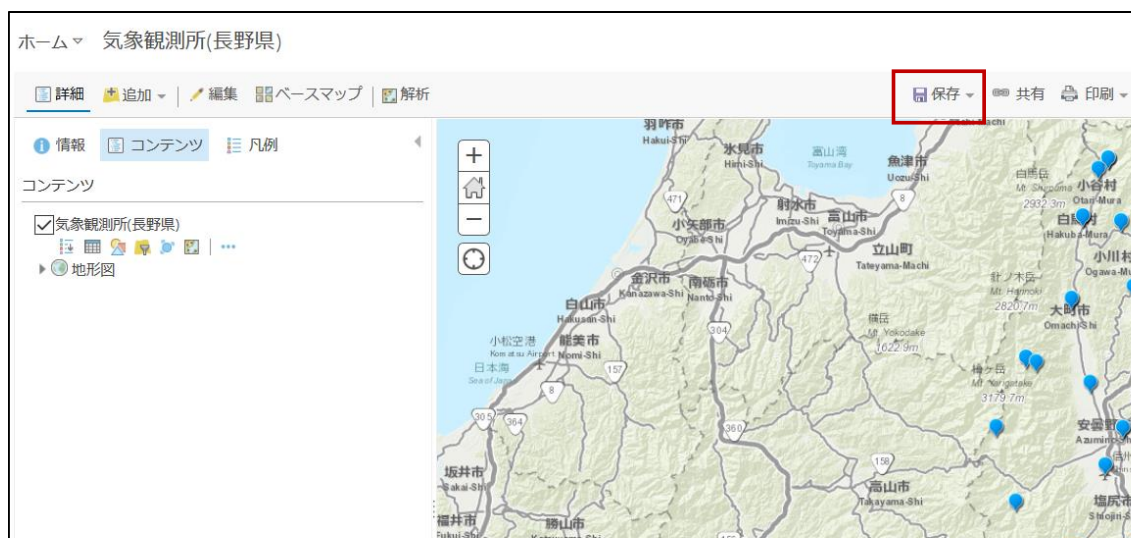


図 32

- ⑩ メニューからマイコンテンツに戻り、作成したWebマップを作成したフォルダーに移動します。

以上の手順により、長野県と静岡県で情報共有するための、アクセス権が設定済みのデータとマップがフォルダーに格納された状態となりました。

以上で、「ステップ 2: マップの作成と共有」が完了しました。

### データの共有を受ける側（今回は静岡県ユーザー）の操作

## ステップ 3: データの追加

「ステップ 3」では、静岡県のArcGIS Onlineユーザーが静岡県の気象観測所のデータをWeb マップに追加し、共有設定を行います。

- ① 「ステップ 1」と同様の方法で静岡県のArcGIS Onlineユーザーが気象観測所のデータをアップロードし、フォルダー内に保存します。

## 第 2 章 情報共有

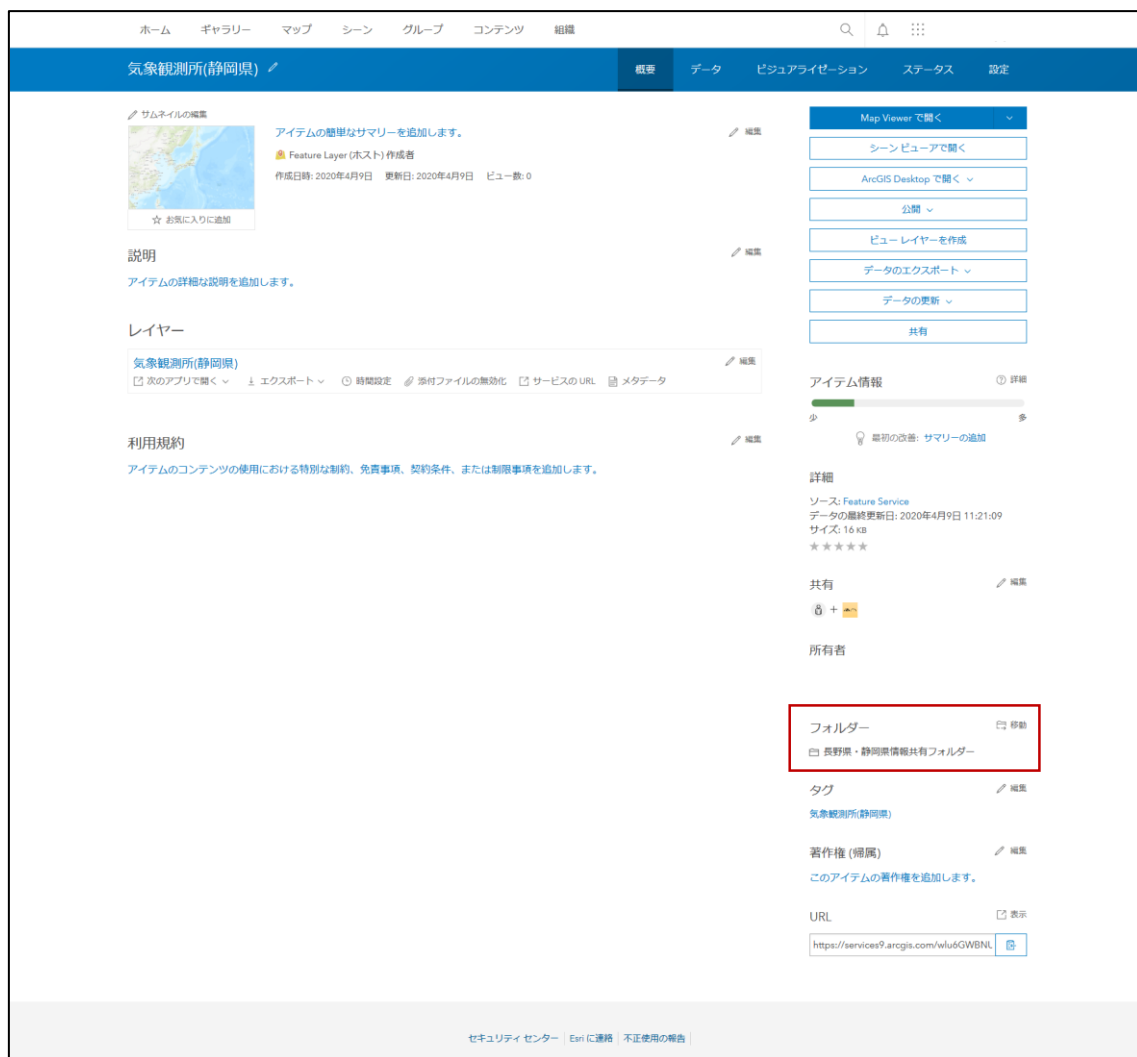


図 33

- ② ArcGIS Online 画上部メニューの [グループ] をクリックし、[マイ グループ] タブを表示します。
- ③ グループをクリックし、グループ画面を開きます。



図 34



- ④ [コンテンツ] タブをクリックし、グループに共有されているコンテンツを表示します。

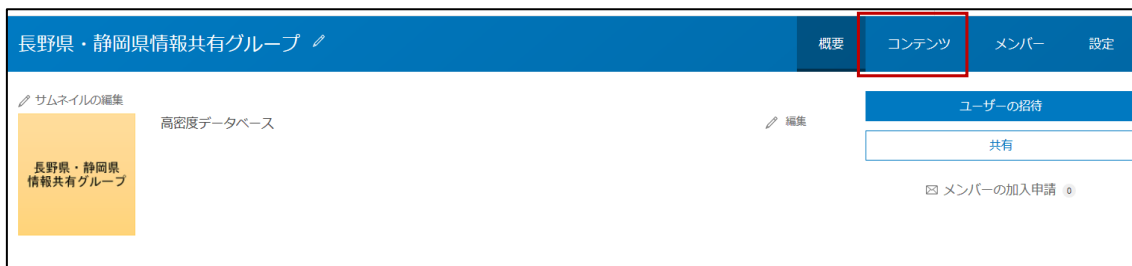


図 35

- ⑤ Webマップをクリックします。

静岡県の気象観測所データを追加します。

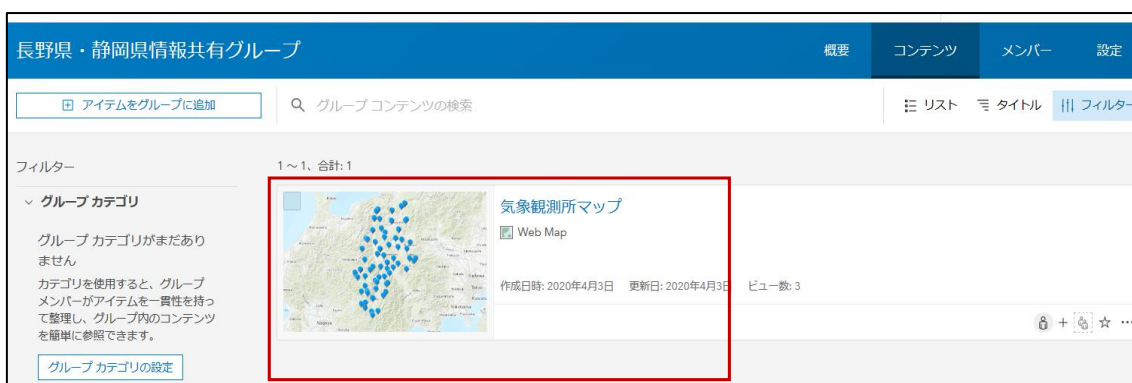


図 36

長野県ユーザーが追加済みの地図（長野県の気象観測所データ）を開きます。

- ⑥ [追加]をクリックし、[レイヤーの追加] をクリックします。

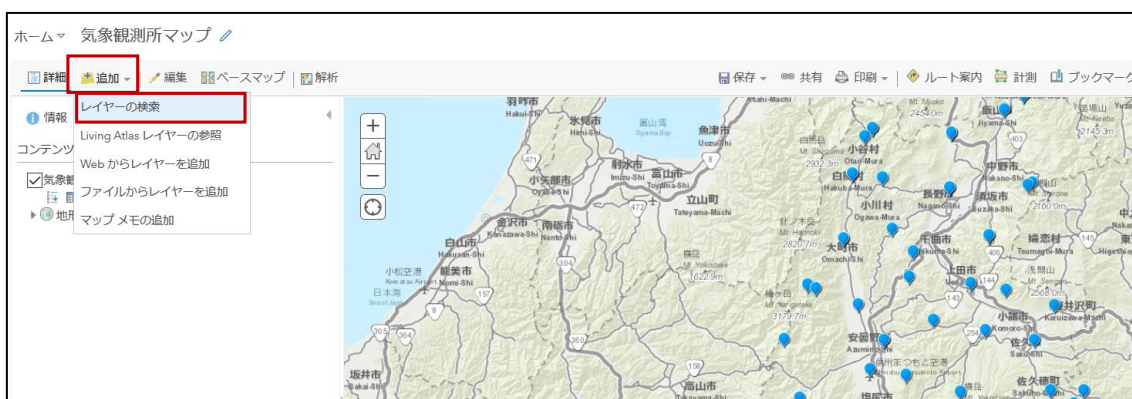


図 37

- ⑦ 静岡県の気象観測所データをクリックし、地図上に追加します。

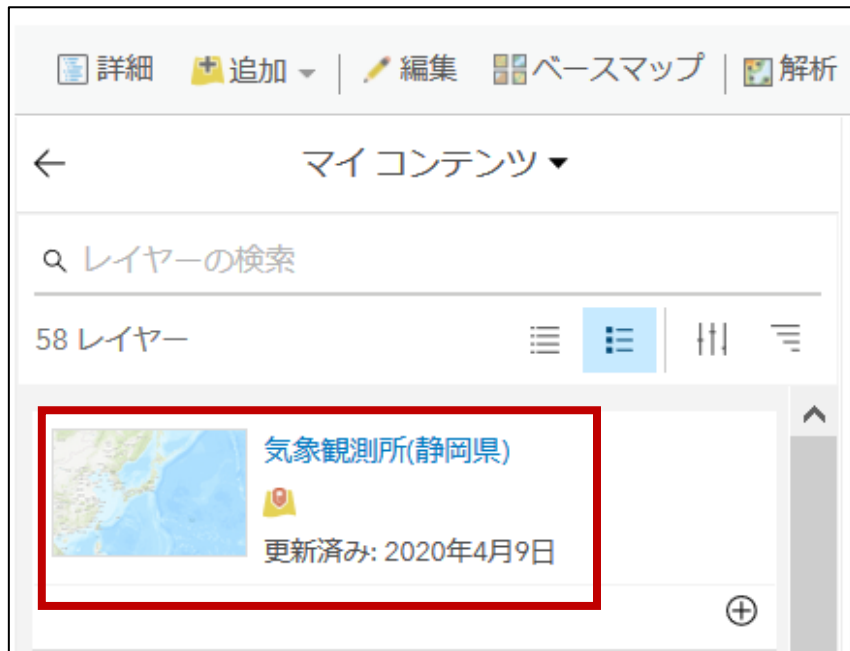


図 38

- ⑧ 静岡県の気象観測所データをクリックし、地図上に追加します。

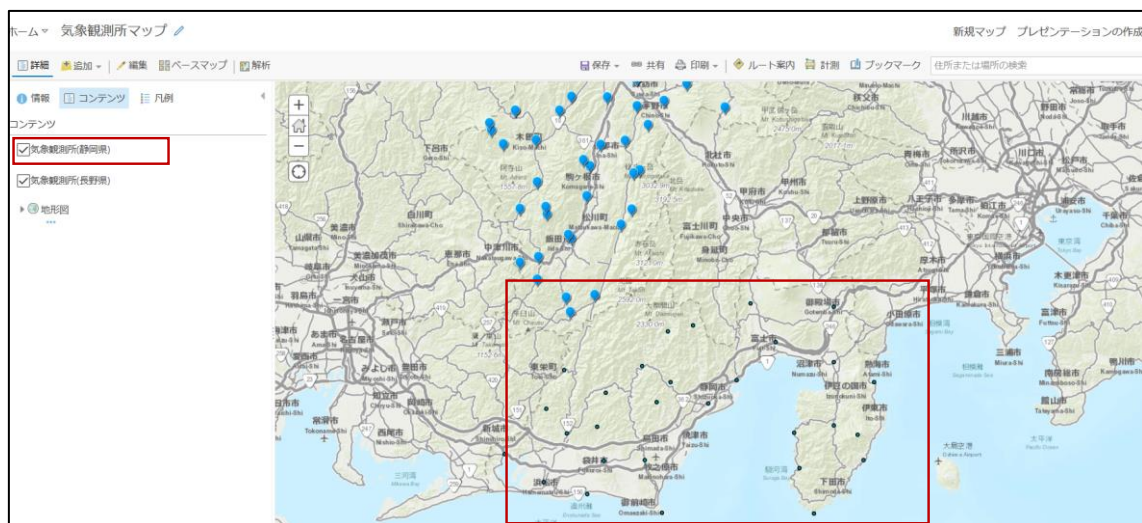


図 39

- ⑨ 「ステップ 2: マップの作成」と同様の方法で、静岡県内の気象観測所データのスタイルを変更します。

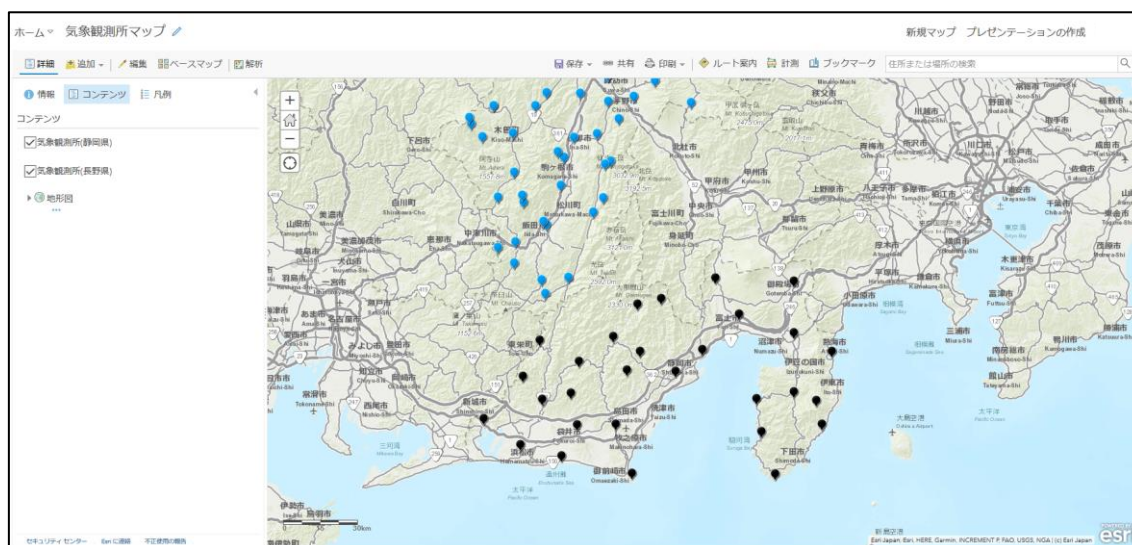


図 40

- ⑩ 「ステップ 2: マップの作成」と同様の方法で、Webマップを保存し、共有します。

以上で、「ステップ 3: データの追加」が完了です。

また、このような1つの地図上でデータを共有する高密度データベースとしての使い方以外にも、単純にファイルサーバーとしてのデータ共有を行う使い方も可能です。グループにアイテムが共有されると、共有グループにコンテンツが追加されます。

ArcGIS Onlineの[グループ]タブをクリックすることで、自身が参加しているグループ一覧が表示されます。各グループを開くことで、共有グループに公開されているコンテンツにアクセスが出来ます。



共有されているデータをローカルPCにダウンロードする方法については、ArcGIS Online逆引きガイド「7-4.ArcGIS Online で公開されているレイヤーをダウンロードしたい」をご参照ください。

## グループ一覧

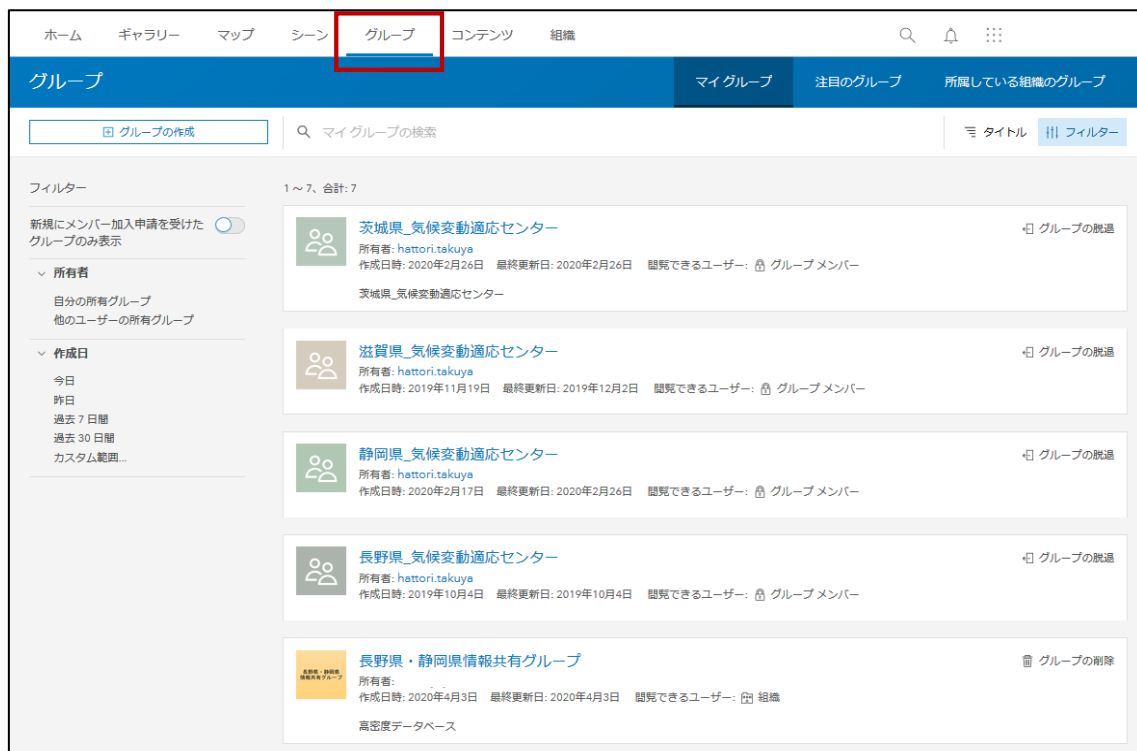


図 41

## コンテンツ一覧

ホーム ギャラリー マップ シーン グループ コンテンツ 組織

長野県・静岡県情報共有グループ

サムネイルの編集

高密度データベース

編集

ユーザーの招待

共有

メンバーの加入申請

説明

グループの詳細な説明を追加します。

編集

詳細

作成日時: 2020年4月3日  
閲覧できるユーザー: 組織  
提供者: メンバー  
メンバーリスト: すべてのグループメンバーに表示  
1 1

最新の追加コンテンツ

気象観測所マップ

作成者: hattori.takuya  
作成日時: 2020年4月3日  
更新日: 2020年6月1日  
ビュー数: 9

グループに共有されているコンテンツが一覧表示されます

タグ

高密度データベース, 気候変動適応

編集

以上

本手順書は以下発行時の内容となっており、今後画面に変更が生じることもあります。

必要に応じて本手順書が公開されているWebページ下部にある参考資料をご参照ください。

2020年5月31日 第1版発行

© National Institute for Environmental Studies. 2020